

県東部在住の外国人

「収入減」が依然半数

三島の市民団体 1月調査

県東部に暮らす外国人の新型コロナ禍での生活実態について、三島の市民団体が今年1月に調べたところ、コロナ前より収入が減ったとの回答が約半数に達した。2020年7月に実施した前回調査から改善が見られなかった。

石川 憲

4/22 毎日新聞 抜粋

夜間中学「興味ある」

外国出身者の過半数

三島の団体 アンケート調査

県が来月4月、三島市に開設する夜間中学について、東部地区在住の外国出身者の半数が興味をもつという。また、同市の日本受入団体「のびっこクラブみしま」(石井千恵子代表)のアンケート調査で分かった。また7割が「夜間中学」を知らない現状も明らかになった。

←4/18 静岡新聞

4/20 伊豆日日新聞 抜粋



5月(2022)No.138

<http://nobikko.chobi.net/>

f のびっこクラブみしま

三島市などで外国出身者の増加をサポートする「のびっこクラブみしま」は、このほど、新型コロナウィルスの影響を受ける外国人の生活実態調査を実施し、結果をまとめた。コロナ前と比べて約半数の回答者が減収となったほか、対面交流が難しい中で情報を収集する難しさも明らかになった。

三島の団体 調査 コロナ禍 情報収集難しく

調査は1月に県東部に住む外国人籍または日本国籍取得者の16歳以上を対象に行い、英語、タガログ語をサポートする「のびっこクラブみしま」は、このほど、新型コロナウィルスの影響を受ける外国人の生活実態調査を実施し、結果をまとめた。コロナ前と比べて約半数の回答者が減収となったほか、対面交流が難しい中で情報を収集する難しさも明らかになった。

東部外国人「減収」半数

語スペイン語など7カ国語の質問票で131件の回答を得た。収入は減った(48%)で、ゼロになった(23%)を含めると半数を超え、転職を考えているとの回答は57%となった。外出の機会が約半分が減少したと答えた。市の広報誌を読んでいた回答者は25%に達し、ウェブサイ



役員のひきつぎしてます



のびっこクラブ開催状況：

- ・オンライン (Zoom) 33回
- ・対面 (北小地域連携室) 18回
- ・個別 (Zoom) 必要に応じて

令和3年度 活動報告

学習者国籍：

ブラジル、ベトナム、フィリピン、台湾、中国、ネパール、イギリス、アルゼンチン、日本
来室延べ人数：230人

ノートやクリップなどの文房具、制服、問題集など たくさんの寄付★

ありがとうございました♡

4月の のびっこクラブ

北小地域連携室ではじまりました！

4/23 ベトナム2, サポート6 見学1

4/30 ベトナム3, フィリピン1

台湾1, サポート9

9:00~10:30は…

《のびっこクラブみしま定期総会》

ぴかぴかの1ねんせいいます

5月のびっこ 10じ~12じ 北小ちいきれんけいしつ

7日 (なのか)

14日 (じゅうよっか)

21日 (にじゅういちにち)

28日 (にじゅうはちにち)